

TOHATSU

PARTNER

2008年1月1日発行／新年号

VOL.74



Photo : 第18回全国女性消防操法大会 開会式

CONTENTS

- 年頭ご挨拶…………… P. 2
- グッドコーポレーション駒ヶ根工場…………… P. 3
- “危機管理産業展2007”開く…………… P. 3
- 第18回全国女性消防操法大会…………… P. 4
- 横浜フローティングボートショー盛況…………… P. 5
- 関西フローティングボートショー…………… P. 5
- 中部フローティングボートショー…………… P. 5
- ミニポートフェスティバル IN 船の科学館…………… P. 6
- (株)ウスイ消防が駒ヶ根工場を見学…………… P. 6
- 和歌山県有田川町へ積載車14台納入…………… P. 7
- 宮崎県小林市へ「VC72PRO」8台納入…………… P. 7
- 新潟県佐渡島で産業祭…………… P. 7
- 4ストローク「VF63AS」ポンプ新発売(新製品紹介)……裏表紙



トーハツ株式会社
代表取締役社長 金子 満

年 頭 ご 挨拶

平成20年の初春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

日頃パートナーをご愛読の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えになられたことと存じます。

年頭にあたりまして、ひとこと年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、去年は世界の基軸通貨となってきました米国ドルの不安、またユーロの台頭など国際的金融の変動が続き、この流れは新しい年を迎えても急激な変化は見られないであろうと予想されております。

一方で温暖化ガスの削減など世界的規模での環境問題が昨年にかけて、より深刻化された問題としてクローズアップされ、省エネルギー化、環境負荷の軽減がさげられる年になるものと考えます。

環境問題は、経済の成長との諸刃の刃という見方もでき、発展途上国の石油の大量消費と建設設備投資と反対の相関があると言われております。わが国においては原油の大量消費の時代は終わったと言われておりますが、原油資源をまったく持たないわが国においては、最近の原油価格高騰の影響が表面化しつつあります。

製造業の関連では、昨年よりアルミニウムをはじめとした非

鉄材料、プラスチックなどの資材の大幅な価格高騰が始まっており、これに備えての物づくりの対応に積極的に取り組まなくてはなりません。

設計から製造販売までのすべてのプロセスを巨視的な観点で見直し、時代の変化に合った選択ができる知恵を働かせ、顧客が要求する高品質且つ地球環境に優しい製品を供給するというメーカーの実力が試される年であると言っても過言ではありません。

おかげさまで弊社は、昨年、会社設立75周年を迎えることができました。私はこの75周年を創業の原点として位置づけ時代の変化に柔軟に対応できる企業体質作りをし、弊社の歴史を未来につなげる意味での新たなスタートの年にすることを誓いました。

平成20年、子年、干支が一回りしての干支のスタートの年でもあり、時のめぐり合わせを幸運としてとらえ、社員一丸となって邁進する所存でございます。皆様方の倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が、皆様並びにご家族様にとりまして良い年となりますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

グッドコラボレーション 駒ヶ根工場

業界No.1のシェアと高品質を誇るトーハツ可搬消防ポンプの新しい製造拠点として駒ヶ根工場は昨年9月に操業が開始されました。既に当地で操業しているトーハツマリン株式会社と共に南と中央の両アルプスを望む広大な敷地の中に立地した新鋭設備を備えた工場です。

可搬消防ポンプを構成する部品の加工から組立て・運転までの工程がありますが、高品質を維持する現場での造り込みと言う考え方が徹底されており、工程と工程の間には品質をチェックする関所があり、このシステムがトーハツ可搬消防ポンプの品質を支えているといっても過言ではありません。

トーハツは時代の要求に沿い、去年は業界初の4ストローク可搬消防ポンプを開発し生産を開始しました。環境に配慮した4ストローク可搬消防ポンプが緑豊かな駒ヶ根の地で生産される、まさにグッドコラボレーションと言えるでしょう。

今後ますます多様化する顧客ニーズに対応

し、社会に役立つ可搬消防ポンプを世界中の人々に使って頂きたい。そんな思いを胸に駒ヶ根工場の社員一同は丸となって努力を続けてまいります。今後ともよろしくお願いたします。
(駒ヶ根工場／松原)



“危機管理産業展2007” 開く

救助・救急 災害対策用資機材を 展示アピール

自然災害からテロ災害まで、社会に潜むあらゆる危機に備えるべく災害対策用資機材製品をメインにした「危機管理産業展2007」が、去る10月17日(水)・18日(木)・19日(金)の3日間にわたり東京ビッグサイトで催されました。この産業展には、「アスベスト対策環境展」や「テロ対策特殊装備展」と言った今日的な話題性に富んだ展示会も同時併催され、入場者はこの3日間で延べ76,300人を数える



など、産業界を始め一般市民の関心の高さを示しました。

トーハツではこの機を捉えて、環境対

策に格段の配慮をした新型4ストローク消防ポンプを中心に、救急・救助、及び災害対策用資機材製品を展示。業界を始めとする幅広い人々にトーハツの災害対策用製品を大きくアピールしました。おかげ様でたくさんのユーザーから質問やら問い合わせを頂き、大盛況裏に閉幕しました。

なお、当日ご来場いただきました特約販売店の皆様には、誌面をかりて厚くお礼申し上げます。

(防災営業部／友田)



第18回 全国女性消防操法大会ひろく 地元応援団の大声援を背に

普段は家事・育児など主婦業やお仕事の傍ら、各地域で初期消火活動や災害現場の救護活動などにも広範に活躍している女性消防隊による第18回全国女性消防操法大会が、去る10月25日、今年も横浜市の消防訓練センターで開かれました。

我が故郷に、今年こそは大優勝旗を持ち帰りたいと願う地元有志や選手のご家族、消防関係者などが大応援団を繰り出し、観覧席を埋め尽くしました。午前9時、大会は選手入場とともに開会を宣言。国旗の掲揚、優勝旗変換、そして主催者の(財)日本消防協会・片山会長の挨拶や来賓者祝辞など



緊張の一瞬
大阪府豊中市
女性消防隊チーム

14番目にトーハツ消防ポンプを擁して演技した鹿児島県の出水(いずみ)市女性消防隊チームが、先行する恵那市女性消防隊チームに激しく迫りましたが一步及ばず同チームが第18回大会を制しました。

惜しくも準優勝にとどまったとは言え、鹿児島県出水市女性消防隊のその若い力を結集したはつらつとしたプレーに、観覧席から割れんばかりの大きな拍手が送られました。これも日頃の猛訓練の成果が結実したもので、まことにおめでとうございます。またトーハツ消防ポンプで出場し優秀賞を受賞された大阪府の豊中市女性消防隊チーム、優良賞を受賞された福島県の飯館村女性消防隊チームには、誌面をかりて心からお祝い申し上げます。

最後になりましたが、トーハツ消防ポンプで出場されたその他各チームの皆様にも厚くお礼申し上げますと共に、'08年が更に輝かしい年になりますよう衷心よりお祈りいたします。

(防災営業部)



チームプレー抜群
大阪府豊中市
女性消防隊チーム

の後、いよいよ全国各都道府県代表47チームによる操法競技がスタートしました。

さすが各チームとも各都道府県を代表するだけあって、タイム、総合得点ともに僅差の争い。しかし、ちょっとした一瞬の間が大きなロスを生み、得点に結びつかないケースが多く見られたようです。そうした中

で隙のないプレーで高得点を上げ、一步抜出したのが岐阜県代表の恵那市女性消防隊。そして



表彰状を授与される鹿児島県出水市女性消防隊の隊員

成績表

成績	都道府県名	消防隊名	総合得点	タイム(秒)
優勝	岐阜県	恵那市女性消防隊	98	51.18
準優勝	秋田県	大館市女性消防隊	88	54.89
準優勝	鹿児島県	出水市女性消防隊	87	55.96
優秀賞	茨城県	常陸太田市女性消防隊	86	56.93
優秀賞	大阪府	豊中市女性消防隊	86	56.69
優秀賞	福岡県	宗像市女性消防隊	84	57.38
優良賞	福島県	飯館村女性消防隊	81.5	57.29
優良賞	鳥取県	若桜町女性消防隊	80	61.78
優良賞	埼玉県	川口市女性消防隊	79.5	55.18
優良賞	熊本県	人吉市女性消防隊	79.5	58.18
優良賞	徳島県	鳴門市女性消防隊	77.5	56.84
優良賞	香川県	丸亀市女性消防隊	77	57.69



見事準優勝した 鹿児島県出水市女性消防隊チーム

各社自慢のボートが勢揃い

2007横浜フローティングボートショー 盛況!

今年も関東マリン事業協会主催による「2007横浜フローティングボートショー」が、快晴に恵まれた去る10月5日・6日・7日の3日間、横浜ベークサイドマリーナで開かれました。

アウトレットモールが併設された同マリーナ展示会場には、国内ボートメーカー品から輸入品まで全25艇が一堂に勢揃い。ブランド品など買い物をかねた行楽客から熱心なボートファンまで、昨年を大幅に上回る来場者があり盛況を極めました。

トータツでは、つい先日ボート専門誌で紹介されたばかりの人気艇TFW-17R、及び低燃費・ハイパワー船外機MD115Aを搭載したTF-235VISC艇を出展。中級から上級クラスの多くのユーザーに高い評価をいただくと共に成約もあり。大成功のうちに閉幕しました。

(マリン関東/飯島)



燃費とパワーでユーザーを圧倒!

絶好調の関西フローティングボートショー



回を重ねるごとに集客率急上昇中の関西フローティングボートショー。今年も去る10月6日～8日の3日間、おなじみの新西宮ヨットハーバーの特設会場で開催されました。

このイベントの特徴は、ボートを見て、触れて、海で即試乗運転できるのが最大の魅力。ちなみに両日の入場者数は、前回より約40%増の延べ約6,800人。比較的質の高いユーザーが多いようです。

トータツでは、燃費とパワーの両立性が受けて、引き続き'08年度の期待を担うTLDIエンジン「MD115A」を搭載したTF-235VI艇、及び同MD70Bを搭載したマーベラス21αの2艇を試乗艇として投入。さすがユーザー。そのへんの情報はちゃんと熟知していて、試乗予約に隙間なし。スタッフも、その多忙さにてんてこ舞い。しかし試乗を終えた多くのユーザーが「あの静かさと加速パワーには圧倒されました!」と語ってくれる感想には、スタッフ一同おおいに癒されたようです。

(マリン関西/中島)



中部フローティングボートショー

試乗艇
終日フル回転!

蒲郡市で中部フローティングボートショー

各地でフローティングボートショーが人気を集める中、去る10月13日・14日の両日、愛知県蒲郡市のラグナマリーナで催された中部フローティングボートショーも、絶好の行楽日和に恵まれ朝から大勢のボートファンで賑わいました。

トータツでは、MD115A船外機をセットしたTF-250SC艇、及びMFS30B船外機をセットしたTFW-17Rの2艇を試乗艇として出展。いずれのモデルも使いやすさと好デザイン、しかもリーズナブルな価格設定がうけて、他社を上回る試乗艇の出航数を記録。終日フル回転ぶりでした。

試乗を終えた各ユーザーは、一様にMD115Aのパワフルな魅力とTF-250SC艇の乗り心地に大満足。一方TFW-17R艇の機動性や使い勝手の良さにも大きな評価を頂きました。

今回の来場者数は前年比約90%と、やや落ち込んだとはいえユーザーにとっては120%の満足度でした。

(マリン中部/垂穂のパパ)



“ミニボートフェスティバル2007 in 船の科学館”

東京・お台場で

開催!!

週末は気軽に乗れるミニボートで楽しんで下さいと、秋の行楽シーズンたけなわの去る10月20日・21日の両日、日本舟艇工業会主催による“ミニボートフェスティバル in 船の科学館”が東京・お台場の「船の科学館」で催されました。

このような本格的なミニボートフェスティバルが都内で催されたのは今回が初めて。日本財団の協力もあって、内外のミニボートメーカーや各社船外機メーカーが数多く参加し、連日家族連れやミニボートファンで賑わいました。

会場内にはミニボート体験試乗コーナーも設けられ、家族ぐるみでボート遊びに興じる風景があちこちで見られました。また国方誠一氏や小野信昭氏、植村敬久氏など専門家による安全対策についての講習も開かれ、「遊べる場所」、「水辺に下ろせる場所」、「保管と運搬」などについてユーザーから様々な意見や質問があい次ぎました。このことはミニボートにとどまらずマリンレジャー全般の問題として、広報活動のさらなる充実が望まれていることを実感しました。

今回の同フェスティバルの延べ入場者数は約1000人余。手応えを感じた主催者・日本舟艇工業会の釣谷専務理事は、ミニボートの普及振興を目的に今後も継続して開催して行きたい、と語っていました。

(マリン課/田中)



岐阜市の(株)ウスイ消防

研修旅行でトーハツ駒ヶ根工場を見学

岐阜市にあるトーハツ特約販売店の(株)ウスイ消防では、秋の研修旅行の一環として、去る11月30日、社員全員でトーハツ駒ヶ根工場を訪れました。この



研修旅行は臼井社長の発案によるもので、メインの扱い商品「可搬消防ポンプ」への知識をより深め、拡販に弾みをつけようと実施されたものです。

見学コースは、組立てから完成品の試運転、更に発送までの各工程の流れを研修しました。とりわけご一行が興味を惹かれていたのは、ポンプの組み上げ完了後の試運転試験や性能検査での測定に、普段ではあまり使用しない測定機器にびっくりされるなど、消防ポンプの精緻な一面を再認識されたようです。また消検受検合格後のポンプがストックされている倉庫では、その中の一部に「(株)ウスイ消防様発送分」があることをご一行が発見。「このままバスに積んで帰ろうか」、と云った冗談が飛び交うなど和気あいな

いの見学会です。

一方、アフターサービスなどに欠かせないパーツ類の受注・発注業務の見学では、パーツ点数の多さや膨大な取り扱い件数の多さにご一行もびっくり。パーツナンバーのチェックと厳しい管理を改めて認識すると共に、自社の管理方式に反省の弁も聞かれる神妙ぶりでした。(株)ウスイ消防様ご一行は、この度の体験を今後の拡販に大いに役立たせることでしょう。大変お疲れ様でした。

(防災営業部)



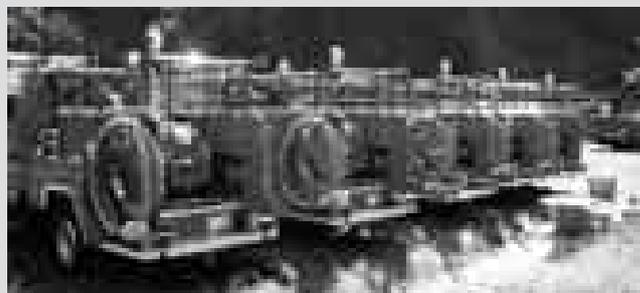
和歌山県有田川町へ 軽四駆積載車14台納入



多くの山間部に占められた和歌山県有田川町では、かねてより同地域に一番適した消防ポンプの選定を急いでおりましたが、このほど自動中継ポンプ「VC72AS-R」を搭載した軽積載車14台の採用を決定。去る11月22日、特約販売店の(有)和歌山防災協会から同町へ納入されました。

納入に伴う交付式では、同町職員や関係者、消防団員などが出席して行われ安全を祈願。また式典の一環として行われた納入ポンプの放水運転では、自動的にエンジンが始動すると消防団員の間から一斉に拍手と歓声上がるなど、待望の自動中継ポンプを前にして地域防災へ、団員の熱い思いが伝わってくる交付式でした。

トーハツポンプをご採用頂いた有田川町、そして販売にご尽力頂いた(有)和歌山防災協会様には厚くお礼申し上げますと共に、同町消防団員の皆様のご活躍を祈念申し上げます。
(防災関西/山口)



宮崎県の小林市では、防災力強化策に伴う平成19年度採用ポンプの機種選定を急いでおりましたが、今年度はVC72BS搭載の積載車5台、及び既存の積載車に搭載する3台の更新用ポンプとしてVC72PROの採用を決定。去る10月28日、同ポンプ8台が一挙に納入され、爽やかな秋空の下、納入式が厳かに執り行われました。

式典には同市の消防関係者や消防団員などが多数出席。同県の特約販売店(株)武田ポンプ店の本部営業部長をはじめ、担当スタッフの手際よい納入作業もあって神事も無事終了。

宮崎県小林市へ
VC72PRO
8台
一挙納入



その後、消防団による積載車の一斉放水などが行われ納入式が閉幕、同市の各消防団に配備されました。消防団の皆様には、今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

(防災九州/小河)



今冬初の寒波襲来。雪の降る大荒れの天候に見舞われた去る11月23日、新潟県の佐渡島で催された産業祭に、トーハツ特約販売店の(株)マリン商事のサブ店・(有)春川商店がトーハツ船外機を展出了しました。

出展された機種は、4ストロークの6/9、8/25馬力の各3モデル。とりわけ25馬力はインジェクション方式で燃費抜群。始動性も素晴らしく地元漁師さんの人気の的と言ったところ。オープン早々から成約を決めるなど、悪天候にしては来場者も多く大盛況の産業祭でした。(株)マリン商事・(有)春川商店様、寒いなか大変お疲れ様でした。
(マリン関東/榎本)

寒波襲来の佐渡島で 産業祭!



電子制御燃料噴射装置 4ストローク 小型消防ポンプ

世界初 小型消防ポンプにバッテリーを必要としない 電子制御燃料噴射装置を採用した4ストロークエンジンを搭載。
“クリーン&エコノミー” そして “超低騒音” この性能が、これからの小型消防ポンプの基準です。

新設計 注目の装備

世界初
バッテリーレス
電子制御燃料噴射装置

3気筒 4ストローク



小型ポンプとして、初のコンパクト高性能4ストローク3気筒エンジンを搭載。

電子制御 燃料噴射装置



ECUからの命令を正確に燃料噴射し、完全燃焼を行いクリーンな排気ガスと低燃費を実現。

ECU



気象条件、及び運転状況を各種のセンサーで検知し最適な燃料噴射量・タイミング・点火時期を細かくコントロールするバッテリーレスタイプの電子制御燃料噴射装置を搭載。

オプション品

全自動機能

新開発コンパクト遠隔操作盤により遠隔操作が可能です。

サーチライト

明るい12V-55Wハロゲン灯は、夜間の作業を協力的にバックアップ。

回転灯

離れていても、ポンプの運転状況を把握できます。

外部フューエルタンク

20リットルの燃料タンクを接続することによって長時間運転を実現。



新登場

VF63AS

B-2級

VF53AS

B-3級

排気ガスが“クリーン”

環境問題についての関心が高まる現在の必須条件です



低騒音・低振動

消防活動・訓練時の情報伝達もスムーズ



燃料消費量が少ない

資源の有効利用し、長時間の運転が可能



※データ値は、0.4MPa 運転時の
現行2ストロークモデルとの比較です。

発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢3-5-4
TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-2951
トーハツ株式会社
トーハツパートナー編集局
編集兼発行責任者 若林 弘/小山 将